

手をのばせばすぐふれられる。そんな世界を知るマガジン

# ハンケ1

5m

VOL.

15

## FEATURE

三休

世古口敦嗣 さん

ちっちゃな療護センター リハビリ部門

松井千晴 さん 岡山望 さん

COVER ART OF HANKEI5m

## 今号の表紙アート



「コドモプロス」げんき(伊藤弦輝)さんの絵画

今号の表紙アートは、大阪市・十三にあるアート専門の放課後等デイサービス、「コドモプロス」に通う、げんきさんの作品です。表紙は、ピンクと黒の力強い線で描かれた「うさぎ」。ニヒルな表情でこちらに眼差しを向けています。裏表紙に描かれた電車の「踏切」は、げんきさんのお気に入りのモチーフ。これまで数多くの作品に登場し、今回はその最新作です。上部と踏切の左側を占める青色は、空と雲だそう。踏切のある風景が、大胆な構図で表現されています。コドモプロス代表の阿部竜宏さんは、「豪快なタッチで描かれるげんき君の作品は、画角の構成とレイアウト力が抜群です」と話します。

コドモプロスに4歳の頃から通いはじめたげんきさん。当初から魅力的な作品を描き、周囲を驚かせていたそうです。げんきさんは、4月から小学校に入学します。これから作品がどんな風に進化していくのか楽しみです。

コドモプロスでは、通っている子どもたちや卒業生の作品を中心に、展示・販売されています。今後、コドモプロス施設内での展覧会や、商業施設でのポップアップショップなども実施予定だそう。要チェックです!

QRコード  
コドモプロス  
ホームページ

# ハンケイ 5m

手をのばせば  
すぐふれられる。  
そんな世界を知るマガジン

vol.15

## CONTENTS

表2 ..... ハンケイ 5m ショップ  
「接遇茶道研修」

### FEATURE 1

02 ..... 世古口敦嗣さん

「農福連携」を実践する  
就労継続支援 B型事業所「三休」  
施設長・サービス管理責任者

### FEATURE 2

06 ..... 松井千晴さん 岡山望さん

リハビリの一環だけでなく  
自分らしさのための絵画制作をする

10 ..... 俊朗の映画話

薬剤師 DJ の音楽論

11 ..... ホホホのすすめ

人形つかいパペの話

12 ..... PICK UP NEWS

私が半径 5m で見つけたおすすめスイーツ

13 ..... ハンケイ 5m vol.15 発行にあたり

RECOMMENDED CINEMA

## ハンケイ5mショップ「接遇茶道研修」始めました!

株式会社ユニオン・エーとタッグを組み、本誌を発行する株式会社アドナース。訪問看護・介護の会社には、さまざまな心遣いが必要です。そこで、「接遇茶道研修」を取り入れています。担当するのは、裏千家茶道助教授の田中賀鶴代先生。「客人の心を思いやる気持ち。それが集結したものが茶道なんですね」と語ります。襷の開け方にはじまり、お盆の向きまで。茶道の習慣は、たとえば名刺を受け取るシーンなど、心のこもったビジネスマナーに置き換えられるそう。それらを丁寧に解説してもらう研修は、訪問看護を担うアドナースには即役立つものばかりです。入社時に研修を受けた辰尾佳音さんは「ゆっくりと丁寧な茶道の所作を通して、心地よい雰囲気が作れるようになった」と話します。

この接遇茶道研修が、このたびハンケイ5mショップで外部の方も受講できるようになりました。就労支援施設の企画展や和文化ワークショップ開催など、多様な文化を発信してきた「ハンケイ5mショップ」。本誌に加え、イベントやコミュニティラジオでの情報発信など、今後も広く展開していきます。

お問い合わせはハンケイ5mショップ 辰尾佳音 hankei5m@adnurse.co.jp まで。



研修の詳細はこちら

### 主催・研修採用企業コメント

株式会社アドナース 代表取締役  
鎌田智広  
(訪問看護認定看護師)

株式会社アドナースでは、社員教育の一環として茶道研修による接遇マナー向上を目指しています。日本の介護を海外展開していくうえでも、日本文化を身につけていくことは、自分達の強みになると考えています。先日は、ロンドンのミュージックセラピーセンターで、その成果を披露し非常に高評価をいただきました。今後も全社員が茶道の初級免許を取れるように取り組んでいきたいです。

### 受講者コメント①

銀雪の里 オーナー  
岡本典子さん

器とお菓子の店を営んでいます。器のために茶道の知識を身につけたいと思い、本研修を受講。当時、経営や販売も手探りでしたが、茶道を通じて、仕事の基礎を一から知ることができました。あらゆることに気を配り、人を「もてなす」ことが、こんなにもビジネスに関わるのだと痛感し、その素晴らしさを知りました。また、人脈が広い先生に、ビジネスマッチングの場を度々設定していただき、雑誌の掲載や、夢だった百貨店出店にもつながりました。

### 受講者コメント②

株式会社ロゼ 代表取締役  
山下南都子さん

接客業をしていると、お客様に喜んでいただけるよう、まだ成長したいという思いがあります。研修を重ねるにつれ、茶道を通しての立ち振舞、礼儀作法、心遣い、ビジネスマナーに至るまで、自分自身が目指しているところに一歩ずつ近づいていると実感しています。また、先生にお聞きして参加した茶会では、新たな出会いも多く、世界が広がりました。自分のビジネスにも活かしていきたいと思っています。

### 受講者コメント③

株式会社nail for all 代表取締役  
田中志津さん

ハンケイ5mショップで「テーブルで行う茶道盆略点前」に興味を持ち、お点前の美しさと茶道の精神に感銘を受け、受講しました。会社経営をしていますが、忙しい毎日でスタッフとの会話が少ないことが悩みでした。受講後、社内で催した茶会を機に、心が豊かになり、社内のコミュニケーションが円滑に。これからも研修で教わったことを活かし、作業中の段取りや気配りをより良くすることで、業績アップにつなげていきたいです。

### こんな方に最適!

「リーダーシップの基礎を学び、自信を持ってチームをまとめたい方」  
「チームの課題解決力を高め、成果を最大化したい方」  
「組織全体の戦略立案や意思決定力を高めたい方」  
「礼儀作法、心遣い、ビジネスマナーを一から学びたい方」

### こんなことが身につきます!

「リーダーとして必要なコミュニケーションスキルや問題解決能力」  
「変化の激しい時代に対応できる、柔軟な思考力」  
「周囲を巻き込み、変革を成功に導くリーダーシップ」  
「心のこもったビジネスマナー」

### 「あつまれ! ハンケイ5m」

【放送日時】毎週月曜 11:00~11:06 / FM79.7MHz 京都三条ラジオカフェ

過去の放送は  
京都三条ラジオカフェの  
ホームページから

無料ラジオアプリ  
「Listen Radio(リスラジ)」で、  
視聴可能です!

スタッフもメンバーも、ともに汗水たらして農業をやる。

働くことを通して、お互が『サンキュー!』と言える関係を築いていきたい



「農福連携」を実践する  
就労継続支援B型事業所「三休」  
施設長・サービス管理責任者  
**世古口敦嗣**さん

FEATURE 1



農業と福祉をつなぐ「農福連携」と呼ばれる取り組みが近年、各地で広がっている。障害のある人たちが農業分野で活躍することを通して、自信や生きがいを持って社会に参画し、さらに高齢化などで担い手不足が深刻化する地域の農業の可能性を広げる試みだ。京田辺市を拠点にハーブやベビーリーフ、伝統的な京野菜の栽培を手がける「三休」も、農福連携を実践している就労継続支援B型事業所だ。施設長・サービス管理責任者の世古口敦嗣さんは「畑に

種を蒔いて、芽が出て、実った野菜を収穫する農業は、自分たちのやつたことがダイレクトに返ってくる営みです。それがみんなの自信につながっています」と話す。

2019年4月に開設した三休

は、市内の耕作放棄地を借りて農業をスタートした。7年目を迎える今

年、畑は市内3カ所で計1町(約1ヘクタール)にまで広がった。季節ごとに多彩な野菜を栽培して、近隣の道の駅での販売や地元JAに出荷しているほか、カフェの運営やマル

指しているのは「誰もがいるままでなく、一人一人が主役となる仕事を生み出したい。世古口さんが目

に生きて、働く喜びを分かち合う農福連携の実現と、地域における居場所づくりだ。

「三休では利用者さんのことを『メンバー』と呼んでいます。スタッフもメンバーと一緒に、汗水たらして全員で農業をやっています。難しい

こと、多様な野菜を栽培して、近隣の道の駅での販売や地元JAに出荷しているほか、カフェの運営やマル



面もありますが、そこも含めて三休としてのこだわりであり、地域に根差した福祉として農福連携を実践する上で、譲りたくないところでもあります」。

### 「障害者福祉」を「自分」とに

世古口さんが「地域に根差した福祉」を目指すようになったきっかけは、大学卒業後に飛び込んだ福祉業界で、現状の福祉制度の課題に直面したことだった。「障害福祉を通したまちづくり」に取り組んでいる大阪府豊中市の障害者福祉のNPO法人で働きながら、障害がある当事者の暮らしに寄り添う中で「福祉制度だけでは、まだまだ足りていないものがある」側面が見えてきた。

脳性麻痺がある50代男性の介助を担当した時のこと。男性は施設での長い暮らしを経て、50代で念願の一戸暮らしを始めた。「たとえば、夜におでん屋にふらっと飲みに行きたいた時。車いすで生活している彼は、私費で介助を受けて実現していました。『やりたいことを、やる』という当たり前の希望、自分らしいライフスタイルを実現するのに、現状の公的な福祉サービスだけでは不十分だと気づきました」。



三休で販売しているオリジナル商品。



活動拠点ではカフェ営業も。



採れた野菜は道の駅などで販売。

「障害がある人たちが自分らしく暮らし、働く場所を作ることで、まちづくりをしたい」。そのために、いつ何ができるだろうか。手探りで始めた三休の開設準備と同時に、毎月一回、地域の様々な人や団体を巻き込んだ公開ミーティングを行ってきた。障害がある当事者をはじめ、地元の市役所や企業で働く人、学生やお年寄りなど、地域の多様な人たちの声を聞いた。そして気付いたのは、当事者と地域の方々の理想的な

超えて、多様な人たちが交流できるパーティーを開いた。

イベントには、趣旨に共感したさまざまな人が遊びに来てくれた。その中の一人が、京田辺市を拠点にチヤリティーコラボTシャツを手がける「JAMMIN」の西田太一さんだ。西田さんは、長年の知人から「ダウン症の娘が働ける場所がない。障害があっても生き生きと働ける場所を作つてほしい」と相談を受けていた。お互いの思いに共鳴した世古口さんと西田さんは意気投合し、西田さんの地元である京田辺市で「誰もが『自分らしく』働ける場」として、三休を開設することを決めた。

### 地域の縁がつないだ農福連携

「障害がある人たちが自分らしく暮らし、働く場所を作ることで、まちづくりをしたい」。そのため、いつ何ができるだろうか。手探りで始めた三休の開設準備と同時に、毎月一回、地域の様々な人や団体を巻き込んだ公開ミーティングを行ってきた。障害がある当事者をはじめ、地元の市役所や企業で働く人、学生やお年寄りなど、地域の多様な人たちの声を聞いた。そして気付いたのは、当事者と地域の方々の理想的な

三休の今年の目標は、地場産業で「三休が農福連携に取り組むこと」が、地域にとつてもメリットがあると、地域の方々に気づいてもらえたのは大きかったです。音楽イベントを始めた頃は参加者の8割以上が以前からの知り合いでしたが、今では初めて参加するという人が大半。地域の人たちの障害者福祉に対する見方は、確実に変化してきたと感じています」。



就労継続支援B型事業所  
三休 THANK YOU!!!



Instagramは  
こちらから

「三休が農福連携に取り組むこと

が、地域にとつてもメリットがあると、地域の方々に気づいてもらえたのは大きかったです。音楽イベントを始めた頃は参加者の8割以上が以前からの知り合いでしたが、今では初めて参加するという人が大半。

地域の人たちの障害者福祉に対する見方は、確実に変化してきたと感じています」。

接点がなかつたことだ。次第に「三休としてやるべきこと」の形が見えてきたという。

「地域での公開ミーティングを続け

る中で、京田辺市の地場産業である農業の担い手が不足していることがわかりました。『障害がある人が働くことで、農業の担い手になれるか』も」と思った時、たまたまミーティングに参加してくれていた地域の農家の方から『うちの耕作放棄地の畑

を使つてもいいよ』と申し出を受けたんです」。

こうして初めて借りた畠で、ミニトマトやバジルなどハーブ類を中心に行なう機農法による野菜の栽培を始めた。その後も、公開ミーティングや三休での音楽イベントをきっかけに、地域の人たちとのつながりがどんどん広がつていった。

「三休が農福連携に取り組むこと

は、いまだ多くの人たちにとつては「当たり前」ではないのだ。そ

のことに気づいた世古口さんは、「障害者福祉」を支援者として考えるだけなく、改めて「自分」として見つめるようになった。

そんな時、NPO法人の仕事を通

して知り合った障害がある同世代の若者から、「一度でいいから、好きな

人と一緒に、クラブの音楽イベント



## 農福連携を生み出した、地域の多様な人の声を聞くミーティング

# 『その人らしさ』を引き出すことで、 日常生活を取り戻す 作業療法によるリハビリの可能性

病気やけがの後遺症や障害で影響を受けた身体機能の回復を目指すリハビリテーション。リハビリに取り組む本人に寄り添いながら、さまざまな工夫を凝らして適切な支援を行うのが理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の「リハビリ3職種」と呼ばれる専門職だ。25歳の時に交通事故で身体に障害を負った松井千晴さんは、京都市右京区で一人暮らしをしながら、作業療法士とともに絵画制作に取り組んでいる。これはリハビリの一環としてだけでなく、「千晴さんらしさ」を取り戻すためである。

絵画の制作は、6年前から。千晴さんを担当している作業療法士・岡山望さんが、千晴さんの母・真由美さんに「事故に遭う前の千晴は、カメラや絵を描く事が好きだった」と聞いて発案した。

「千晴ちゃんは、美大での専攻を活かし、デザインや映像制作の仕事を好きなことに触ながら、リハビリ

リハビリテーションは医師の指示の下で、理学療法士、言語聴覚士、アドナース作業療法士などの専門職の中で、作業療法士はどういう支援を行うのでしょうか?

「最近は表情の変化が徐々に増え、食事に使う道具の操作もできるようになりました」。生活に『千晴ちゃんらしさ』が出てきたと感じています」という岡山さん。作業療法士として訪問でのリハビリに携わる思いを聞いた。



## 岡山さん プロフィール

アドナース作業療法士。山口県出身。看護師だった母の影響で医療の仕事を志す。地元の大学で学び、作業療法士の国家資格を取得。総合病院や個人医院、介護老人保健施設での勤務を経て、2018年から訪問リハビリに取り組むアドナースで働く。「千晴ちゃんとは年齢も近く、ともに『セーラームーン世代』。いたずらっぽくニヤッと笑う千晴ちゃんの表情が可愛くて大好きです」。

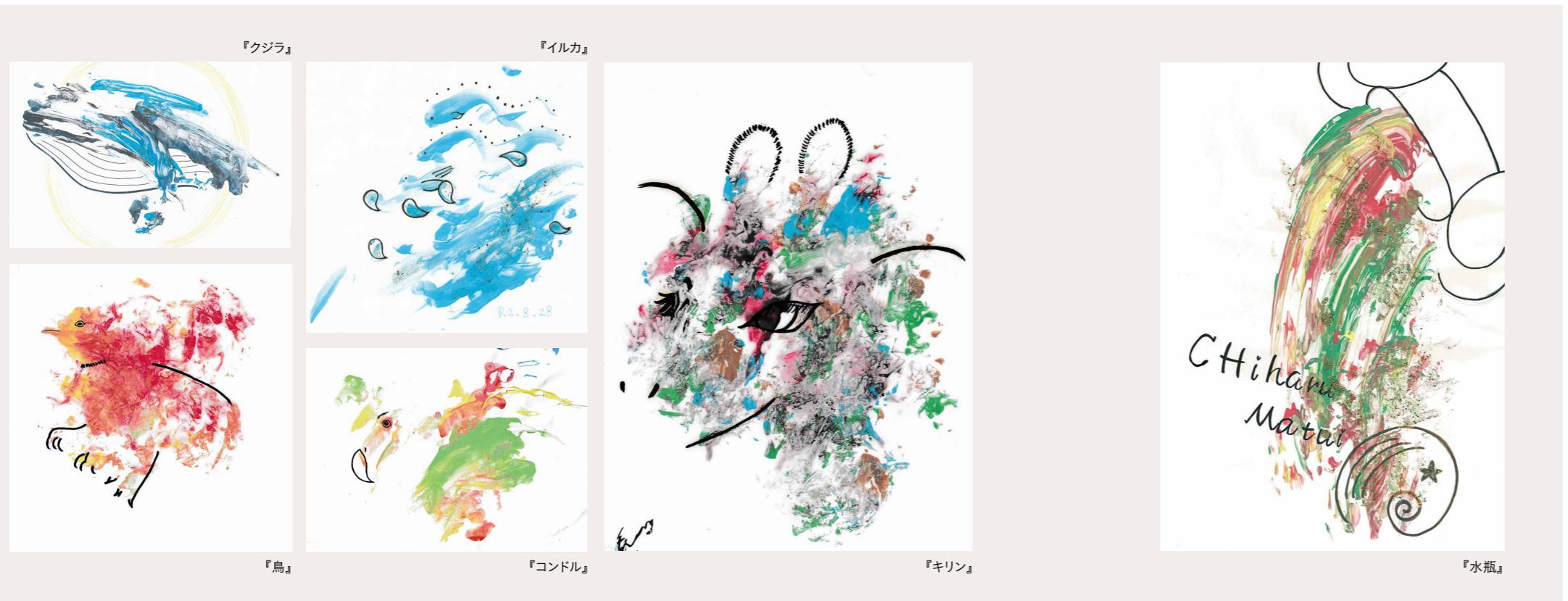


左から、訪問介護ヘルパーの竹中寿美子さん、千晴さん母・真由美さん、松井千晴さん、千晴さん父・宏次さん、岡山望さん

**松井千晴さん**  
アドナース作業療法士  
岡山望さん

リハビリの一環だけでなく自分らしさのための絵画制作をする

FEATURE 2



現在、千晴さんの住まいは  
「ちっちゃな療護センター」  
としてたくさん的人が訪問。  
岡山さんはリハビリ部門。



作業療法士が相互に連携して取り組みます。理学療法士は立ち上がり歩いたりという基本的な身体の動きを、「言語聴覚士は言葉の聞こえや発語といったコミュニケーションと食事の飲み込みを主に担っています。対して私たち作業療法士は、とても幅広い活動をしています。食事も動作をはじめ、仕事をしたり、遊んだり、料理をしたり。日常に関わる全ての活動が「作業」に該当します。さまざまな作業療法リハビリプログラムを作成して機能回復に取り組む中で、「作業」そのものを練習する場合や、心と体の回復や維持を目的に、千晴ちゃんが絵に取り組んでいるように治療の手段として「作業」を行うこともあります。

千晴さんと岡山さんは、どのように絵を描き進めていくのですか？

実際に使う絵の具は毎回、私がパレットに出した中から、千晴ちゃんが視線を動かして選び出します。1色のときもあれば複数の色を使うときもあり、その時の気分や描きたいものによってさまざまです。

描く前にあらかじめ題材を決めることはしていません。千晴ちゃんが絵と音楽療法はやっている内容は全然違うんですが、目標とするところは一緒です。千晴ちゃんは音楽が大好きで、椎名林檎さんの大ファン。車いすでもコンサートに行くほどです。リハビリは楽しくないと続かないで、色々なやり方で回復を目指して続けていきたいと思います。

私は週1回のペースで訪問していますが、最初に出会った頃と今を比べると、千晴ちゃんは大きく変化していると感じます。

これまでのリハビリは手を上げたり、指を開いたり掴んだりという動きが中心でしたが、最近は押す力の作業を練習するようになりました。これは、フォークなどで食べ物をさして、口に運ぶという食事の動作につながる動きです。6年前には想像できなかつた、食事やトイレなどの日常生活の作業ができるようになりましたことは、本当にすごいと思います。

私たち専門職にとって訪問リハビ

をしてきたことで、指の動かし方がとても上手になっていました。

以前の千晴ちゃんは右側が認識しづらく、視線が左側を向いていることが多かつたんです。最近は右側に動かすことも増え、時には体を左にねじろうとすることもあります。絵画と音楽療法はやっている内容は全く違うんですが、目標とするところは一緒です。千晴ちゃんは音楽が大好きで、椎名林檎さんの大ファン。車いすでもコンサートに行くほどです。リハビリは楽しくないと続かないで、色々なやり方で回復を目指して続けていきたいと思います。

私は週1回のペースで訪問していますが、最初に出会った頃と今を比べると、千晴ちゃんは大きく変化していると感じます。

これまでのリハビリは手を上げたり、指を開いたり掴んだりという動きが中心でしたが、最近は押す力の作業を練習するようになりました。これは、フォークなどで食べ物をさして、口に運ぶという食事の動作につながる動きです。6年前には想像できなかつた、食事やトイレなどの日常生活の作業ができるようになりましたことは、本当にすごいと思います。

千晴ちゃんと、千晴ちゃんの両親、千晴ちゃんの一人暮らしを支えているヘルパーさんたち「チーム千晴」のメンバーで、一緒にご飯を食べたいです。

食事は栄養摂取という面だけではなく、コミュニケーションを深める意味合いもありますよね。一人で食べるよりも、みんなで同じテーブルに座って、同じ料理をひと口でも食べべたいです。

食事をすると楽しいですし、心も満たされます。「両親をはじめ、「チーム千晴」のみんなが同じ気持ちだと思います。千晴ちゃんが千晴ちゃんらしく暮らせるように、これからも一緒に目標に向かってリハビリに取り組んでいきたいと思います。

千晴ちゃんのリハビリは、絵画を描く作業療法のほかに音楽療法も組み合わせて取り組んでいます。音楽に合わせて指を引っ掛けでベルを鳴らしたり、自分の力で腕を持ち上げ、手に乗せたビー玉をシンバルの上に落としたり。直接身体を動かす音楽療法と同時進行で、絵画の作業療法

リハビリを始める前と現在で、千晴さんはどのように変化されましたか？

千晴ちゃんのリハビリは、絵画を描く作業療法のほかに音楽療法も組み合わせて取り組んでいます。音楽に合わせて指を引っ掛けでベルを鳴らしたり、自分の力で腕を持ち上げ、手に乗せたビー玉をシンバルの上に落としたり。直接身体を動かす音楽療法と同時進行で、絵画の作業療法



# ハンケイ 5m

手をのばせば  
すぐふれられる。  
そんな世界を知るマガジン

vol.15  
発行にあたり

今年一年も  
がんばろうという気分は、  
新年より、春に感じます。  
鎌田智広(スペシャルアドバイザー)

3歳になった息子は5m以内の  
目につくもの全てを新鮮に感じている。  
物事の捉えかた、感じかたを見習いたい。  
北原靖浩(デザイン)

改めて音楽の力を実感しました。  
NO MUSIC, NO LIFEですね！  
辻正美(カメラ)

新しいことを始めたくなる春、  
緑のものを育ててみたくなりました！  
中山みゆき(編集)

茶道の所作が  
ビジネスマナーにも活きるとは、  
目から鱗でした！  
鈴木穂乃(編集)

出会いも別れもある春。  
一つひとつの縁を  
大切にていきたいです。  
久野泰輝(編集)

ステレオタイプに負けない  
強い自分を持って  
生きていきたいです。  
木村実那子(編集)

「頭ではなく、心で感じたことを  
もっと大切に！」子どもたちの絵が  
そう私も語りかけてくれた気がした。  
田代佳世(記述)

「自分ごと」に捉えていく  
アンテナの感度を  
上げていきたい。  
福島明彦(校正)

# ハンケイ 5m vol.15

2025年4月10日発行

発行 株式会社アドナース  
京都市西京区大原野西境谷町2丁目14-10  
075-754-6174  
株式会社ユニオン・エー  
京都市左京区北白川西平井町22-2  
075-724-0410

企画・制作 株式会社ユニオン・エー  
Staff 円城新子  
山田梨世  
吳玲奈  
中山みゆき 鈴木穂乃  
久野泰輝  
木村実那子 福島明彦  
田代佳世  
龍太郎  
辻正美  
北原靖浩  
もりはなぐみ  
スペシャルアドバイザー 鎌田智広

## RECOMMENDED CINEMA

### 京都シネマおすすめ映画

4/18(金)公開  
**カップルズ**  
4Kレストア版

PG12 | 麻将 | 1996 | 台  
120分 | ※2K上映  
監督: エドワード・ヤン  
出演: ヴィルジニー・ルドヴィアン  
©Kairoscope Pictures  
<https://www.bitters.co.jp/edwardyang2025/>

### アップリンク京都おすすめ映画

4/25(金)公開  
**けものがいる**  
La bête The Beast | 2023  
仏・加 | 仏語・英語 | 146分  
監督・脚本・音楽:  
ベルトラン・ボネロ  
出演: レア・セドゥ、  
ジョージ・マッケイ、  
配給: セテラ・インターナショナル

掲載データは、2025年4月現在のものです。あらかじめご了承ください。本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転用を禁じます。Copyright©2025 ADNURSE Corp.・union.a Corp. All rights reserved.

地域で福祉に取り組むことが  
いかに合理的で豊かなことなのか  
痛感しました。  
円城新子(編集)

春の輝きを知る人は、  
風雪の季節さえ恵みの日々とする。  
待ちわびた芽吹きの時は、いよいよ近い。  
龍太郎(ライター)

隣の人の気持ちが想像できる、  
やさしい人になりたいです。  
山田梨世(編集)

移動する、食べる、休む。  
みんなの当たり前は、みんな違う。  
それをサポートする仕事の尊さに、気づきます。  
吳玲奈(編集)

あたたかい季節になり、  
しばらく会っていなかった人に  
会う機会が増えました。  
自分のハンケイ5mを大切にしたいと  
改めて思う今日この頃です。  
森華(デザイン)

PICK UP NEWS

## ハンケイ5m オリジナル扇子ができました！

京扇子の老舗・白竹堂さんのご寄付により、ハンケイ5mオリジナル扇子が完成しました！ 絵柄は3種で、vol.8の表紙で紹介した「南山城学園」の佐藤佳世子さんの作品、今号の特集(P6~9)で紹介している松井千晴さんの作品、vol.11の表紙で紹介した放課後等デイサービス「ごっこ」の東環奈さんの作品です。いずれも初夏に似合う素敵なお絵柄です。ハンケイ5mショップで取り扱う予定なので、ぜひ足を運んでみてください！

佐藤佳世子さんの作品

松井千晴さんの作品

東環奈さんの作品

白竹堂  
ホームページ

## ハンケイ5m 設置・サポーター募集について

『ハンケイ5m』をもっと多くの方に手に取っていた  
だけよう、新規設置場所を随時募集しています。  
また、『ハンケイ5m』の価値観に賛同してくださる  
サポーター企業様・団体様を募集しています。(一  
口5万円～)お問い合わせは、[info@hankei500.com](mailto:info@hankei500.com)まで。

## アドナースpresents 私が半径5mで見つけた おすすめスイーツ

私のオススメは阪急洛西  
口にあるケーキ屋さん  
「Le fruitier」です。可愛い  
ケーキや焼き菓子がたくさんあり、選ぶのが大変で  
す(笑)。今回紹介する  
季節のショートは瑞々し  
い苺とたっぷりの生クリー  
ムがたまらない逸品です。  
ぜひ近くにお立ち寄りの  
際は覗いてみてください！

本社総務  
上野 友起子



× union.a

ADNURSE